

2026年6月19日
グリーンコープ
生活協同組合連合会
第三十四期
通常総会

グリーンコープ連合会の経営を 改善し、剰余を生み出す構造に 復活させることに取り組みました



グリーンコープ連合会
専務理事
片岡 宏明さん

2026年6月19日、グリーンコープ生活協同組合連合会の第三十四期通常総会が、福岡市内の会場とオンラインのハイブリッド形式で開催されました。審議の結果、すべての議案が賛成多数で承認・可決されました。

2025年度の活動報告と2026年度事業計画、2026年度活動方針の要旨を報告します。

第一号 議案

2025年度活動報告承認の件

前年度の供給高を上回ることが出来ました

2025年度、共同購入事業の部門別の供給状況は、多くの部門で前年を超え、全体では前年比101.4%となりました。牛乳は、カタログ51号（2025年3月9日週配達）から、グリーンコープミルク製造のびん牛乳の供給を開始しています。青果は欠配を半減させました。2025年度の欠配額は3億399万円で、2024年度の8億8,793万円から大きく減少しました。

米の供給は「予約米を次年度産米の登場まで必ず届ける」として予約米

の供給数は増やしましたが、米全体の供給総数は減少しました。そこで、43号（2025年12月22日週配達）から予約米を確保した上で、自由注文の企画を増やしました。その結果、2025年度末には「令和の米騒動」前の供給数に近づいてきました。一般的に「米離れ」が起きていると言われているいますが、グリーンコープでは「米離れ」を防いでいると言えます。

連合会事業2025年度
総括は次のとおりです

- (1) 供給高は予算を達成できませんでした。
- (2) しかし、供給剰余率を改善することが出来て、当期剰余の予算を達成しました。
- (3) 物件費、事業外の予算の策定が不十分でした。
- (4) 過年度の会計処理の違いがありました。

共生の時代

みどりの地球を
みどりのままで

連合会総会報告

■発行：グリーンコープ
生活協同組合連合会理事会
■編集：共生の時代・編集部
■〒812-8561
福岡市博多区博多駅前一丁目5番1号
博多大博通ビルディング4階
TEL 092 (481) 7923
FAX 092 (481) 7876
<https://www.greencoop.or.jp/>

グリーンコープ | 
グリーンコープは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

第四号 議案

2026年度事業計画・予算決定の件

損益を急速に改善する
初年度と位置付けて
取り組みます

2024年度から続く
連合会の大きな赤字を、
経費削減により改善する
方針で事業計画を立てて
います。しかし、アメリ
カとイスラエルによるイ
ランへの戦争発動により、
石油関連及び石油に依存
する分野のコストが急騰
し、2026年度事業計
画では、2025年度よ
りさらに欠損が大きく
なる予算とせざるを得ま
せん。

連合会の経営を改善し、
剰余を生み出す
構造を目指します

赤字となつていくリパ
ック事業部の経営改善に
取り組みます。青果生産
者から届く青果物を組合
員向けに小分けして、会
員生協に届けるリパック
業務を連合会が担ってい
ます。生産者の高齢化な
どもあり、リパックの仕
組みそのものは今後ま
す必要となります。リ
パック事業の経営を成立
させるために、品目ごと
の粗利率の点検、実態に
合わせた商品の企画や規
格の見直しなどを実施し
ます。

商品価格における利益
率を適正に改善すること
を検討します。グリーン

コープの商品価格は、仕
入れ価格が上がった分だ
けを値上げし、物流や仕
分け袋などグリーンコー
プ事業で発生するコスト
の増加は、値上げではな
く経費削減や業務の合理
化などの経営努力で対応
してきました。しかし、
近年のインフレによるコ
ストの増加は、その努力
だけではどうにもできな
いところまで来ていま
す。従って、2026年
度は商品の利益率を適切
に改善して、グリーンコ
ープの経営が成り立つよ
うな商品価格へと見直し
を進めます。

カタログを改革し、利
用高の拡大に取り組みま
す。青果のページを刷新
するなど、より注文が増
えるようなカタログ作り
を進め、組合員にグリー
ンコープ商品の良さを伝
えて利用を増やす取り組
みを行います。

現在の常勤常務は50
代、60代が中心であり、
世代交代するべき時期に
きています。今年度、常
勤常務の世代交代を実施
し、連合会の経営強化と、
新たなグリーンコープへ
の飛躍に向けて取り組
み、未来を切り開きます。

第三号 議案

2026年度活動方針決定の件

- 一、グリーンコープの主人公である組合員がグリー
ンコープ運動を展開し、仲間を増やし、利用を
高めます。
- 二、生命（いのち）を守り育むグリーンコープの食
べものを食べて、私たちの安心・安全な食べも
のを守り、より良く育てていきます。
- 三、「グリーンコープ商品の確かさを確認する活
動」を重要なグリーンコープの組合員活動とし、
メーカー・生産者との交流によって、商品管理
の強化と商品の利用拡大をすすめていきます。
- 四、グリーンコープ商品を見直し、改善と開発、取
り扱いをすすめていきます。
- 五、組合員、メーカー・生産者、ワーカーズ（労働
協同組合）、職員事務局とともに利用の拡大を
すすめていきます。
- 六、グリーンコープ連合会と単協の経営を一層強化
します。
- 七、四つの共生の願いに基づく取り組みをすすめ
ます。
- 八、各委員会の方針は次のとおりです。
(一) 連合会商品検討委員会
(1) 新規提案の商品について、検討決定します。
(2) 新規の農畜水産物の産地や新規のメーカーを
視察します。
(3) 日常的な商品管理等に関する報告事項につい
て確認します。
(二) 連合会商品おすすり委員会
(1) 生産者やメーカーとのつながりを深め、単協
での利用普及に活かします。
(2) グリーンコープの「産直」や「商品」につい
て知ること、そのよさを実感し、オールグ
リーンコープで利用普及の取り組みをすすめ
ます。
(3) 組合員の声を活かした広報を通して利用普及
をすすめます。

質疑応答 (抜粋)

Q カatalogの改革として、食品ペー
ジを2ページ減らし、特企雑貨
ページを2ページ増やすとある。
特企雑貨の売上増は理解できる
が、食品の売り上げは維持でき
るのか。また、Catalogのページ
数を変えずにどのようにコスト削
減につなげるのか。

A 食品については、ページ数は減
るがアイテム数は変わらない。コ
スト削減については、食品と特
企雑貨は運用が異なり、特企雑
貨は取引メーカーよりCatalog掲
載料が支払われるので、その分
が削減できる。

Q 常勤常務の世代交代をすることは
良いことだが、役員全員が男
性で、女性がいらないことに違和
感がある。ジェンダーに対する考
え方をききたい。

A ご指摘はもっともだ。連合会職
員は圧倒的に女性が少ない。将
来的には、女性役員が生まれる
ようにしたい。



連合会 商品検討委員会

商品提案に真摯に向き合い、長く愛される「生命を育む食べもの」の開発に取り組みました

「子どもや家族が健康で安心して暮らせるように」と願う組合員の思いを形にするため、商品の開発・検討を丁寧に進めました。安心・安全でおいしいことはもちろん、規格や包材など、使いやすさも重視して確認しました。

会員生協の商品開発の検討の様子を委員会で共有しました

今年度もおおさか、ひょうご、ふくおか、おおい、かごしま、みやぎの会員生協で、商品開発が進められました。冷凍キンパ、みックス

連合会 商品おすすめ委員会

生産者・メーカーと交流し、つながりを深め、情熱を持って利用普及に取り組みました

2025年度も積極的に学びや発見を重ね、グリーンコープの食べものや商品への愛を深めました。

産地やメーカーの視察・交流を通して学びや感動がありました

りんご博士・みかん博士養成講座では、生産者から、現場の様子や生育状況について聞きました。参加した組合員・ワーカーズ・職員は、厳しい環境の中でも努力を惜しまない生産者にエールを送り、早期予約に向けて思



沖縄県のパイン生産者のもとを訪れ、減農薬栽培に取り組まれている様子を視察しました。

ん牛乳が自社工場で製造できるようになった道のりを思い返し、うれしさがこみ上げました。産直りんごの産地を視察し、生産者と交流しました。りんご大国の青森県でも、減農薬栽培に取り組んでいる生産者は数%しかないこと知り、産直りんごの貴重さを改めて感じました。産直みかん産地のアグリネット（熊本県）の視察では、夜になっても気温が下がらない厳しい環境の中、除草剤を使わな

長崎蒲鉾(旬)を視察しました。一般的な練り物の98%がリン酸塩入りのすり身を使用する中、グリーンコープの練り物はリン酸塩を使わず、お刺身で食べられるほど新鮮な魚を原料にして製造されていました。※耶馬溪ファーム・グリーンコープミルク・グリーンコープTMRセンター

学習会で学んだことを利用普及につなげました

「商品学習会では、産直の理念や取り組みをはじめ、食品添加物、環境ホルモン、遺伝子組み換えなどの問題や、容器や包材に至るまで、幅広い視点からグリーンコープの安心・安全について確

うだと感じました。人や環境に配慮した商品を開発しました。耕作放棄地を活用して生産された小麦「チクゴイズミ」を使った冷凍パンの検討をしました。商品名に「チクゴイズミ」を入れたことで組合員に耕作放棄地の問題を知ってもらい、利用につなげ、日本の農業を守るグリーンコープの取り組みを広めるきっかけになりました。



夏と冬のおくりものの新規商品とリニューアル商品について、試食や試飲をし、仕様書の点検も行いました。

これまでの豆乳飲料が廃番となり、ストロー付きの紙パックの豆乳飲料を検討しました。グリーンコープでは、できるだけゴミを出さず、プラスチックを減らすという考えのもと、原則ストローは付けていません。メーカーではストロー付きのものしか作れないとのことでしたが、生分解される素材のストローが提案され、グリーンコープの考えに基づいた環境に配慮されたものであることも含めて確認しました。

連合会第三十四期通常総会で選出された役員			退任した役員	
理事全体区			退任理事	
片山 京子 連合会商品検討委員長	大隈 祐哉 連合会常務理事	松原 圭佑 連合会常務理事	篠原 佳奈子 おおさか 組織委員会	上川畑 由美 組織委員会
神保 薫 共同体組織委員長	谷口 雄亮 連合会常務理事	石田 巳記 連合会常務理事	薬師寺 ひろみ おおい	鷺野 奈美 連合会常務理事
観音 大吾郎 連合会常務理事	森川 速人 連合会常務理事		竹田 さやか 商品検討委員会	
理事地域区			退任監事	
辻中 仁美 おおさか理事長	山下 めぐみ おおい理事長	柴田 裕子 くまもと地域理事長	野口 輝子 ひょうご	中島 純一 (長崎)
監事			旭林 久美子 (島根)	
村上 真矢 ふくおか	大西 由香 おおい	村田 勉 ひろしま	生協名は一部省略しました	

連合会第三十四期通常総会 議案採決の結果

代議員数	215人 (議長と欠席者を除く)	賛成	反対	保留
第一号議案 2025年度活動報告承認の件		多数	0	3
第二号議案 2025年度決算報告承認の件		多数	1	3
第三号議案 2026年度活動方針決定の件		多数	0	4
第四号議案 2026年度事業計画・予算決定の件		多数	3	5
第五号議案 定款変更の件		3分の2以上	2	3
第六号議案 監事監査規則改定の件		多数	0	3
第七号議案 常勤役員退職金支給規定改定の件		多数	0	3
第八号議案 役員補充選任の件		多数	1	3
第九号議案 役員報酬決定の件		多数	0	3
第十号議案 議案決議効力発生の件		多数	0	3

グリーンコープ生活協同組合連合会 第三十四期 通常総会 2025年度決算報告 (貸借対照表・損益計算書)は ホームページに掲載しています

貸借対照表はこちら

損益計算書はこちら